2026年度	事業計画書	事業所・委員会名	訪問ヘルパーしおかぜ

策定者　管理者　長沼正幸

1．２０３０年度ビジョン

法人共通	モラル・教養・技術を兼ね備えた職業人集団（プロフェッショナル）となり、 地域から最も信頼される福祉ブランドを確立する
事業所	ヘルパー一人ひとりが、事業所の顔（ウリ）となるよう、心と観察力を持った職員になり、ヘルパーのことならしおかぜと顧客・ケアマネから思っていただける訪問事業所を目指す。

作成上の注意）聞いた人が中身をイメージできること、これをユニットや職種やクラスなどチーム単位に分解する想定。

2．前年度の振りかえり

強み・得意／弱み・問題	法人内に訪問介護事業所が２つある　／　効率の良い運営が出来ていない
機会・ニーズ／脅威・競合	収入の上限がない・近隣に競合事業所が少ない　／　人材不足

作成上の注意）聞いた人が中身をイメージできること、１行にまとめてもＯＫ

3．当年度の戦略目標

戦略の柱	現状（ビジョンに対する課題・問題点）	成果目標（事業所の定量目標）	行動項目（項目４に分解する）
（１）組織風土変革 ・規則等理解、ＡＢＣＤの状況 ・関係の質の状況 ・言葉づかい、服装、マナーの状況 ・職員同士の協力体制の状況	・職員が事業所の顔（ウリ）になってほしい	気持ちの良い接遇が出来る	接遇マナーの勉強会を行う（５月）
（２）人材育成 ・職員の資格保有の状況 ・職員の常識・業務知識・技術の状況 ・現場のＯＪＴ体制の状況 ・職員のモチベーションの状況	・職員に制度や技術、知識を深めてほしい	・動画研修へ参加させ、個々のスキルを磨く	・個別に研修計画を作成する ・職員に応じた動画研修に参加させる（年２回） ・琴浦ヘルパーと内部研修の実施
（３）サービス品質向上 ・サービス提供時間の状況 ・業務効率化、標準化の状況 ・利用者やご家族の満足度の状況 ・苦情や事故、その対応の状況	・法人内に２事業所あるが、サービス提供する上で、効率の良い運営が出来ていない。 ・利用者、ご家族の満足度を把握していない ・サ責の業務の見直し	・琴浦ヘルパーと連携し、業務効率を図り、『ヘルパーのことならしおかぜで』を目指す ・クレーム０を目指す ・業務の効率化を図る	・琴浦ヘルパーとの連携会議を月１回以上実施 日曜営業・居宅廻りをサ責間で調整する ・年に１回（３月）満足度調査を実施 ・管理者訪問同行し、利用者様と関わる ・生産性向上でサ責業務の棚卸を行う（７月迄）
（４）経営基盤強化 ・事業収支の状況 ・稼働率の状況 ・施設・設備の状況 ・事業所固有のリスクの状況	・積極的な営業活動が出来ていない	・新規顧客獲得　２名／月以上	・毎月必ず居宅に訪問し、営業を行う ・サービス終了者がでたら、居宅に電話をかけスピーディーに新規受け入れを行う
（５）地域支援強化 ・法人地域支援活動への参加の状況 ・地域住民からの認知度の状況 ・拠点独自の支援活動の状況	・地域支援活動に職員の参加できていない	・サ責・パート職員年に１回以上参加	・年間計画の中に担当者を決め、参加計画の作成

作成上の注意）文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語（何、誰など）を明確にする

事業所内標語

スローガン	在宅生活応援隊

事業所の職員全員で取り組むものを、わかりやすいことばで表せるならグッドです！

４．年間行動スケジュール

	戦略行動項目 （前掲項目３との関係をカッコ記載）	定例業務	法定研修・訓練 （参加者、人数、立合有無等をカッコ記載）
４月	居宅訪問（４）　個別に研修計画作成（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３） 地域行事参加計画作成（５）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会） 生産性向上委員会	
５月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３） 管理者訪問同行（３）接遇マナー勉強会（１）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	
６月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３） 管理者訪問同行（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	緊急時対応（全員）
７月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会） 生産性向上委員会	虐待防止・身体拘束（全員）
８月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	認知症対応（全員）
９月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	倫理・法令遵守・個人情報保護（全員）
１０月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会） 生産性向上委員会	BCP（災害）研修・訓練（全員）
１１月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３） 接遇マナー振り返り（１）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	感染症及び食中毒発生予防及び蔓延防止（全員）
１２月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	事故対応（全員）
１月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会） 生産性向上委員会	BCP（感染症）研修・訓練（全員）
２月	居宅訪問（４）　動画研修に参加（２） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	ハラスメント（全員）
３月	居宅訪問（４） 琴浦ヘルパーとの連携会議（３） 満足度調査（３）	事業所会議（事故予防・感染予防・虐待防止委員会）	

作成上の注意）文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語（何、誰など）を明確にする

５．当年度の収支計数・前提条件

収支計数		前提条件	
目標事業活動収入	19,670千円	提供可能時間数	6,553.5時間
目標稼働率	76.23%	利用時間数（年間）	4,996.0時間
事業活動支出予算額	19,128千円	単位／１利用者あたり収入	5,325円
目標事業活動資金収支差額	542千円	（１回あたり平均時間は1.4時間）	
		重点加算（＝事業所サービスの特徴）	特定事業所加算
		自事業所の戦略人材とは？	事業所の顔となる人財

稼働率：入所・デイ・保育：期間中延べ利用者数÷（営業日数×１日の利用定員）

訪問：期間中サービス提供時間数÷期間中勤務延べ時間数

単位：１回あたりの数値